空き家をビジネスに活用する方法を知りたい｜空き家ビジネスの課題点をご紹介！

「空き家ビジネスとは何のことだろう」

「現状の空き家ビジネスの課題点について知っておきたい」

このようにお考えの方はいらっしゃるのではないでしょうか。空き家ビジネスについて詳しくご存じの方はまだまだ少なく、空き家ビジネスに関する情報を知りたい方も多いと思います。そこで、今回は空き家ビジネスとは何かと空き家ビジネスの課題点についてご紹介します。

□空き家ビジネスとは

空き家ビジネスとは、空き家を活用して顧客を作り利益を生み出すことです。空き家ビジネスは空き家の所有者によって行われたり、購入した空き家を利用して行われたりします。空き家ビジネスで成功すれば、活用方法を見いだせなかった空き家から大きな収益を継続して得られます。

□空き家ビジネスの課題点

＊日本の中古住宅は質が低い

空き家を含め日本の中古住宅は質が低いとされています。

欧米では、住宅は長く住み使い込むことで住宅の価値が高まるという認識があります。そのため、何世代にもわたって住宅の維持管理を行いながら、その住宅に住み続ける文化があります。

しかし、日本にはこのような認識や文化がありません。むしろ、日本では住宅は1世代限りの使い捨てのイメージが強いです。新築住宅が最も価値の高い時とされ、住宅にもよりますがほとんどの住宅は時間の経過とともに価値が無くなっていきます。

このように日本人は不動産の価値を維持したり、向上させる意欲が低いために購入した中古住宅は質が低いことが多く、空き家ビジネスを行う前の中古住宅の修理費用にコストがかかりすぎるといった問題が発生することがあります。

＊空き家ビジネスが世間に定着していない

空き家ビジネスはまだ世間に定着していません。

実際に、国内では空き家を使用したサービスの数は少ない状態です。社会問題となるほど大量に空き家は存在しますが、それを活用してビジネスを行うという動きはまだ始まったばかりと言えます。

＊地域経済の衰退化

空き家が増加している地域の経済は衰退している傾向にあります。そのため、空き家のある地域には仕事があまりなかったり、若者の多くが都会に出ていて若者の数が少なかったりします。

そのような地域の状態で空き家ビジネスを行ったとしても、そもそもの需要が他の地域よりも少ないため空き家ビジネスが上手くいかないこともあります。

□まとめ

今回は空き家ビジネスとは何かと空き家ビジネスの課題点について紹介しました。

今回の記事が空き家ビジネスを始めようと考えている方の参考になれば幸いです。空き家ビジネスのノウハウはまだ確立されていないため、空き家ビジネスに取りかかろうとする方は手探りでご自身のビジネスを進めていく必要があります。しかし、裏を返せば専門業者の参入も進んでいなく、工夫次第では大きな成功を得られる可能性があるでしょう。